

## 令和5年度第1回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議（要旨）

- 1 日 時 令和5年9月4日（火）14:00～16:00
- 2 場 所 さぬき市役所本庁附属棟 多目的室
- 3 出席者 **【委員】** 井出委員 尾崎委員 大塚委員 長山委員 山崎委員 小池委員  
金江委員 長谷委員  
**【事務局】** 向井審議監 間嶋総務部長 多田政策課長  
松下係長 橋本主査
- 4 傍聴者 2名
- 5 会議次第
  - 1 開会
  - 2 座長挨拶
  - 3 議事
    - (1) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況について
    - (2) 今後のスケジュールについて
  - 4 事務連絡
  - 5 閉会
- 6 配布資料 資料1:第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査結果
- 7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞ (14:00)
政策課長	<p>本日はご多忙の中、さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議にご出席いただきましてありがとうございます。進行を務めさせていただきます政策課長の多田です。よろしくお願いたします。</p> <p>それでは開会に先立ちまして、事務局が変わっておりますので、自己紹介をさせていただきます。</p>
事務局	＜自己紹介＞
政策課長	<p>次に、会議の公開についてです。</p> <p>さぬき市附属機関の委員の構成及び会議の公開に関する指針及びさぬき市情報公開条例に照らし、市の会議は原則公開であります。本有識者会議も、同様に公開させていただきますのでご承諾ください。</p>
委員	(委員了解)

政策課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>なお、本日の傍聴者は2名です。会議途中で傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。</p>
政策課長	<p>それでは、開会にあたりまして、長山座長よりご挨拶をいただき、そのまま議事の進行にお移りくださいますようお願いいたします。ありがとうございました。</p>
座長	<p>(座長あいさつ)</p> <p>まず、本日の会議ですが、遅くとも16時を目途に終了したいと考えておりますのでご協力をお願いします。</p> <p>それでは、議題に入ります。議題(1)「第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;資料1について説明&gt;</p>
座長	<p>それではKPIの達成状況の調査結果につきまして、ご意見ご質問等、承ります。何方からでもどうぞ。</p>
座長	<p>資料の9ページの遊休農地の活用について、農業者の経営体とは具体的に、農業法人なのか個人も含まれるものなのか。法人格を有している団体は、さぬき市にたくさんあるように思えないが、法人格を持たないような緩い集団も含まれるのだろうか。</p>
事務局	<p>担当課に確認します。</p>
委員	<p>KPI達成状況一覧表ですが、最終年度(令和6年度)計画値に対する達成度について、D(未実施・把握できない)項目が一つあるが、こちらは何か。</p>
事務局	<p>資料27, 28ページの「移住ガイドツアーの実施」であるが、令和4年度までの実績は0である。こちらは、車を分けるなどコロナ感染症対策を講じていたが、申し込み自体がなかった。ただ、令和5年度ではすでに1回実施している。今後はチラシを刷新するなど積極的にガイドツアーを周知していきたい。</p>
委員	<p>令和5年度では、未実施ではなくなることを理解しました。</p>

委員	単純に感じたことだが、先ほどの 9 ページだと、課題と改善策、評価が毎年同じである。課題と改善策があるならば、次年度の予定は、課題解決のためのものを記入するのが筋だと思う。
委員	実績で 6 経営体とあるが、大きい規模から小さい規模までであると思うが、できたら、耕作放棄地が解消された面積も一緒に記載してほしい。市では耕作放棄地が増えていると思うため、この施策によってどれだけ解消されたか分かればよいと思う。
委員	こちらの経営体は、生産組合とか農業法人とかいろいろ含まれている。
座長	再生した農地面積 8 ha は田なのか畑なのか果樹園なのか、教えてもらえたらありがたい。耕作放棄地の再生といっても、上記の種類によってとらえ方が異なると思う。
委員	自身もこのうちの 1 経営体であるが、個人事業主である。8ha のうち 1 ha を果樹園として再生した。大体サッカー場のピッチくらいの広さ。補助金は決して多額ではない。面積あたりの補助金なので、田や畑や果樹園などは関係ない。農地中間管理機構が間に入っているため、後々のトラブル発生の防止につながると期待できる。
委員	さぬき市全体の耕作放棄地を教えてほしい。
座長	担当課は把握していると思う。また、併せてどのくらいのペースで増えているかも教えてほしい。
座長	資料 19、20 ページについて、再認定を受けなかった認定農業者が 5 件と少なかったのだが、これは施策が効いたということではなくて、偶然なのだろう。
座長	資料 23、24 ページについて、定住奨励金の新築件数の把握は、漏れがなく地域の現状が分かり、よいデータ取りだと思う。だが、令和 4 年度は芳しくない。原因は何か。
政策課長	令和 4 年度については、コロナ禍等の理由により物資が海外から入ってこなかったことが考えられ、一時的なものであってほしい。
委員	そういうことであれば、補足資料として県下の他市（東かがわ市や高松市など）の状況なども見せてほしい。

委員	39、40 ページの市観光協会ホームページアクセス数が倍になっている理由はあるか。レイアウトが変わったとか万博関連で増えたとか。
事務局	理由は担当課に確認する。最終年度の計画値は達成しているが、コロナの再流行などの懸念もあり、見通せないことから計画値は据え置きたいとの旨確認している。
座長	ふるさと納税についても順調であり、上方修正するかどうか悩ましいところである。全国的な動きからも、減りはしないと思うが。
委員	返礼品は何が伸びているか把握しているか。
事務局	担当課に確認します。
委員	ふるさと納税の自販機は、市が設置しているのか。
事務局	事業者が一年間、実証的に設置している。売れ行きはいまいちだと聞いている。
委員	志度カントリークラブは、市内の利用者が多いのではないかと。利用者の何%を占めているかにもよるだろう。
委員	当日、その場で使用できることがメリットである。
座長	47、48 ページの子ども医療費について、県内は現物給付を実施しているが、県外の場合は立て替え払いの対応である。領収書の確認により手続きを簡素化しているが、やはり県外の場合も現物給付を実施することはやはり難しいのだろうか。
座長	49、50 ページの放課後児童クラブ入会児童について、令和 4 年度は児童数が増えているが、これは何か理由があるのか。令和 5 年 4 月より 5、6 年生まで受け入れることが決まったため、預け入れようという方が増えたのだろうか。
座長	基本目標 3 の不登校児童生徒数について、数が多いと思う。特に中学生。何か理由があるのか。
事務局	こちらは県、国全体としても高いとのことである。

委員	時代背景として、無理に学校に行かなくてもよい風潮があるのではないか。
委員	学校に行かなくても、オンラインやアプリなどで勉強できるようになった。ライフスタイルが変化しているため、こちらの数値だけでは実態はつかめず、もっと踏み込んでみないと分からないのかもしれない。
座長	67、68 ページの市民病院の周産期医療について、常勤の産婦人科医は1名だが、ようやく軌道に乗ってきたということか。ただ当時は2～3名体制で百何十件を超える分べん件数だったと記憶している。さぬき市民病院は東端で唯一の分べん機関なので頑張ってもらいたい。理想は産婦人科医の複数体制であるが、難しいのだろうか。
座長	71、72 ページの救急医療について、コロナ禍で都市部や高松市でも救急患者が増えたと聞いている。さぬき市でも2,087人とまだまだ高い傾向か。医者の身体的負担がかかるので、受け入れ体制には限りがあるのだろう。
委員	43、44 ページの婚活イベントについて、市の本気度を知りたいのだが、婚活イベントはもう古いと思っている。例年通りに行っているのであれば支援の仕方を改めたほうが良いかもしれない。今は婚活アプリでマッチングしていることも多々ある。例えば、アプリを通しての婚活やマッチングでさぬき市を旅行先に選んでもらえたら、何か特典があるとか、そちらのほうで支援をしても良いかと思う。
委員	婚活イベントの主体は商工会の青年部。市は前に出るということではなく補助金での支援になる。確かに時代とともに変わっているし、婚活イベントの参加者の本気度も様々な印象を受ける。今後は、社会の変化に合わせて、出会いのきっかけをバーチャルにするなど対応する必要があると思う。
座長	街コンのような、街に若い人があふれ地域全体が潤うような取り組みは今後も時代に対応して続くと思う。
委員	婚活に限らず、色々なイベント自体5～6年続くと、次の世代へ引き継ぐような動きは必要であると感じる。はじめは盛り上げようとしている団体も、何年も続くと白けてきて、惰性で行っている場合もあると思う。市内の秋祭りのように地域に根付き、代々引き継がれているようなイベントは長く続いている。ただ、秋祭りなどは他の地域でも行っている。さぬき市はもう少し特色を出したほうがよい。

委員	例えば、先ほどの農地の問題であれば、どんどん法人化、企業化させて「農業が行いやすいまちです」と PR していくなど、そのために市は特区を取得し、法人格を取得して事業を行いやすいような突っ切った施策を打ち出していくことも重要だと思う。また、一番良いのは市外、県外から新たな企業等呼び寄せて「農業をしてください」ということ。そのために市のメリットを多く打ち出す必要がある。
委員	他の部署にも言っていることだが、令和 4 年度にできた法律「建築物省エネ法」について。行政側が認めたエリア内において、カーポートに太陽光パネルを設置すれば、建ぺい率から除外されたり、3 階建ての建物に太陽光を設置すれば、高さ制限から除外されたりするものと認識している。 例えば市内の工業団地をエリア促進地域に指定して、大規模な駐車場に太陽光パネル付きの屋根を設置することで建ぺい率から除外してもらえたら、その分大規模な建物を建てることができるはずだが、まだ良い返事がもらえていない。さぬき市として、思い切った規制緩和をしてもらえたら、企業誘致にも有効だと思うのだが。
座長	戦後より一般法人の農地取得、農業参入は一般的に認められていない。ただこれだけ耕作放棄地が増えてきているので、自治体は戦略特区を取得し規制改革を行うなど、思い切った施策を行うこともありえるのではないのだろうか。
座長	例えば、市で大規模小売店が農地を使いたいときは、市農業委員会の許可がいるのか。
委員	市農業委員会の審査にはかかると思う。また、市の農業委員会の上にある、県の農業委員会にも話が行くだろう。
座長	農業委員会の構成は？皆農業者なのか。
委員	農業者と、中立の立場の学識経験者で構成される。
委員	建築物省エネ法の建ぺい率の話も同じで市や県の許可がいる。ただ、もともと国が決めていた工業立地法上の工場等の立地面積配分（建物、緑化帯など）は市が決めることになっていると思う。なので上記の話も、実現可能な内容だと思うが、実際は返事がない。企業誘致に貢献できると思うのでまずは、自治体でエリア促進地域にしてほしい。
委員	達成状況調査票について、非常に表面的な内容に見える。実際は各担当が深くかかわ

	<p>ってこそその KPI の結果だと思うが、他地域との差別化するためにも、もう少し政策的に専門的にも踏み込んでいただくことが必要であると思う。</p>
座長	<p>どれだけ市の財政が痛まらずに魅力的な条件を示せるか。一番良いのは規制緩和か。法律を少し緩めて、市や県が細かいルール化を決めていければ、良い競争になると思う。</p>
委員	<p>徳島文理大学の移転の話も、市の大きなネタといえばそうである。相当な覚悟があると思うが、行政体を買うのはどうだろうか。大学側も行政体にしか売らないと思う。要は考え方やアイデア次第。文理大学が移転するのは事実なので、ネガティブにとらえるのではなく、ポジティブに考えていくために行政体に手ほどきしていただきたい。万博や瀬戸芸、IR の話もあるので。</p>
座長	<p>他にありませんか。この場でも出なくても、ご意見やご提案がある場合は、後日、意見書に記載して提出することも可能なので、お願いしたい。</p> <p>次の議題の「今後のスケジュール」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;事務局説明&gt;</p>
座長	<p>追加で何かご意見等ございますか。</p>
委員	<p>個々施策の KPI 達成状況調査については理解したが、おおもとのさぬき市の人口は、やはり減少しているのか。</p>
政策課長	<p>右肩下がりです。</p>
委員	<p>個々施策の KPI についても重要であるが、達成したから良かったのではなくて、究極の目標であるさぬき市の人口が間違いなく減少していくということであれば、その件についても別の場などで議論していく必要はあると思う。</p>
座長	<p>人口が減ったとしても、その地域に住んでいる人がどう感じるかが大切。快適に住めるようなランドデザインが行政には求められている。</p>
委員	<p>公共交通についても同じ。人口減少による赤字はどうしようもならない。住民側も行政側にすべて任せるのではなく、適度に利用するなど、協力していく姿勢が大事。</p>

座長	<p>利害対立は昔からあるもの。ただ、衰退期でも痛みの押し付け合いをするのではなく、一緒に考えていく姿勢を大事にしたいと思う。</p> <p>それでは、本日はこれにて閉会いたします。</p> <p>どうもご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 閉 会 &gt; (16 : 00)</p>
----	--